

平成30年2月6日
KTC第2回大学合同新技術説明会
於:ホテルオークラ福岡

福岡大学商学部の 産学官連携の取組み

福岡大学 商学部
准教授 二宮 麻里

自己紹介

- 流通・マーケティング専門
- 酒類研究：中間流通の歴史的分析
『酒類流通システムのダイナミズム』

2016年、有斐閣から出版

2018年9月～フランス、ボルドー

Kedge Business Schoolで在外研究予定



なぜ産学官連携を推進するのか

福岡大学

福岡高等商業学校(昭和9年設立)が源流
世界恐慌、昭和恐慌(昭和4-6年)後に設立
「商人に学問は必要」

→日本の高等教育における商学の伝統
経済学でもなく、経営学でもない「商学」
理論と実学の両方を重んじる伝統

→大学を地域のよろず相談所に

福岡大学商学部で目指したこと

2005年から産学連携プログラムをスタート
情報発信と経験の蓄積を目指す
「実社会」のニーズを探る



20組織以上と連携プログラムを実施

サントリーフーズ株式会社、NTTタウンページ株式会社、株式会社ロフト、株式会社山口油屋福太郎、株式会社共立メンテナンス、NECソリューションイノベータ株式会社、コクヨ株式会社、株式会社筑前織物、福岡県酒造組合、ヒルトン福岡シーホーク等

事例紹介 NTTタウンページ株式会社

「ソーシャルメディアを活用した地域情報の発信」

⇒宮地嶽神社で取材

若者の神社に対するイメージと、自分達が
目にした景色とのギャップを映像で埋めたい

産学官連携とは

- 新しい世代への教育と地域内の人材交流
- 新しいマーケットの開拓方法を開発
急速に変化するマーケットにどのように対応するのか

2018年度以降の目標

- 1) 企業・自治体との自立的な共同研究プログラム開発
 - データ解析
 - 共同商品開発
 - 海外販路開拓・プロモーション
 - ブランディング: 映像編集、HP作成、SNSの利用等
- 2) 技術シーズの事業化提案
 - 素材の商品化
 - ブランディングアントレプレナー教育をスタートさせる
- 3) 起業を希望する学生への支援体制を整備する

ご清聴いただきありがとうございました